



## 第78回卒業証書授与式 ～校歌を声高らかに誇りある後ろ姿を魅せて～

3月7日（金）第78回卒業証書授与式。厳粛な中、多くのご来賓の皆さま、地域、家族の皆さま、在校生、職員で卒業生187名の旅立ちの門出を祝福しました。在校生が心を入れて会場準備等を行い、素晴らしい態度で臨みました。卒業生たちは、呼名への返事、堂々とした授与の振る舞い、心に残る答辞と群青の学年合唱と、「目指せ須恵中の3年生」の誇らしい後ろ姿を見せてくれました。最後の校歌斉唱は、後輩たちとともに心に響く温かな歌声で声高らかに歌い上げ、学び舎を巣立っていきました。

第78期卒業生の中学校の三年間の軌跡には、仲間と共に歩み成長してきた証があります。素直に前進する懸命さ、互いを認め合うやさしさ、そして、地域にも広げたボランティア活動に見せた大いなる貢献力、誰かの役に立つ喜びをエネルギーに主体的な行動力を発揮してくれました。何事もひたむきにやり遂げ仲間と笑顔を輝かせるリーダー学年の姿がありました。スローガンへの熱い思いで学校行事を成功に導き、みんなで同じ目標に向かって挑戦する楽しさや、一人一人の個性を磨く尊さを示してくれました。第78期生徒会が掲げたスローガン「感謝」の思いは、互いの良さを認め合い、全校生徒が安心して過ごせる温かなつながりの学校風土をつくりあげました。

在校生からの送辞では、後を受け継ぐものとしての責任と覚悟が伝えられ、卒業生からの答辞では、後輩たちへの激励と期待の言葉が送られました。生徒が主体となって須恵中の良き伝統を受け継ぎ、それぞれが大切にされるより良い学校風土が創られています。ありがとう第78期卒業生。そして、次を担う1・2年生に期待が膨らみます。



## 送辞 第79期生徒会長

## 送辞より抜粋 ～先輩からの学び、そして決意～

不安でいっぱいだった一年生の春、先輩方はあたたかい笑顔で私達を迎え入れてくださいました。そんな先輩たちのやさしさがあったからこそ、私達は中学校という新しい環境にもすぐになれることができました。

スローガンである「挑夢」を胸に臨んだ体育会は、私達にとってかけがえのない思い出となりました。どのブロックもお互いにアドバイスしあい、優勝を目標に仲間と切磋琢磨することができました。全校生徒が本気になることができたのは、ブロック長や種目リーダーの先輩方が、強いリーダーシップと行動力で、私達の先頭に立って導いてくださったからです。「桜梅桃李」というスローガンのもと行われた文化発表会は、たくさんの個性が発揮され、生徒一人ひとりが輝くような盛り上がりを見せました。合唱コンクールでは、「素晴らしい合唱にしたい！」という先輩方の熱い思いが感じられました。昼休みや放課後、懸命に練習に取り組む姿は、仲間と一つの目標に向かって努力することの素晴らしさを教えてくれました。また、ボランティア活動への参加に対して、どの学年よりも積極的な姿をみて、人のために行動する最上級生として在るべき姿、それを貫くことの大切さを学ぶことができました。「感謝」を言葉にして笑顔を絶やさない姿は、今でも私達の憧れであり、目標です。今度は、私達が、先輩方が築き上げた須恵中学校を受け継いでいく番です。先輩方のように尊敬される須恵中生になるために、先輩方から学んだことを生かしていきます。そして、一年後、私達も笑顔で須恵中学校から旅立てるように、懸命に日々を累積していこうと思います。

## 答辞 第78期生徒会長

## 答辞より抜粋 ～仲間とともに旅立つ、「感謝」～

三年前、期待に胸をふくらませていた入学式。呼名の時は、コロナ感染対策で、その場に立ってお辞儀をするだけでした。少しずつ日常が戻ってきたのは、二年生のころからで修学旅行にも行くことができました。三年生の五月、最高学年として臨んだ体育会。放課後練習方法を相談したり、リーダーを中心に反省会をしたり、全員が楽しいと思える最高の体育会を目指して、みんなで走り抜くことができました。十月、初めてアザレアホールで歌った合唱コンクール。感染症の制限がなくなり、クラス全員で作り上げた美しいハーモニーを先生方や保護者の方々に披露することができました。特に三年生は全クラスが団結し、どのクラスも金賞をとることができ、思い出に残る素晴らしい合唱コンクールとなりました。在校生の皆さん、私達に一生懸命についてきてくれてありがとうございました。皆さんが何事にも全力で取り組む姿を見て、自分たちも頑張らなくてはと、いつも背中を押してもらっていました。一年生の皆さん、四月から後輩ができると同時に三年生をサポートする学年になります。「須恵中の当たり前」を当たり前に行い、後輩のお手本になってください。二年生の皆さん、いよいよ四月から須恵中学校のリーダー学年になります。最上級生としての自覚をもち、生徒全員でより良い学校を作り上げ、須恵中学校の良き伝統を次の世代へつないでいってください。

僕達のために一生懸命に働いてくれたり、毎日ご飯を作ってくれたりしたお父さん、お母さん。いつも優しく見守ってくれたおじいちゃん、おばあちゃん。僕達が今日、このような姿で卒業式を迎えられたのは、家族のみんなが僕達のことを思って叱ってくれたり、体調が悪いときは病院に連れて行ってくれたり、愛情をもって育ててくれたおかげです。普段は反抗したり、口答えしたりして、素直に言えなかったけれど、本当はとても感謝しています。

僕達の今の姿はどうか？お父さんやお母さんに少しでも近づけていますか？もっと誇れる自分になれるように何事にも全力で取り組んでいきますので、これからも応援よろしくをお願いします。

そして、三年間一緒に過ごしたみんなへ。苦しくてつらいとき、黙ってそばにいてくれたり、優しい言葉をかけてくれたりしてくれてありがとう。行事や取り組みのたびに、みんなと協力し合えたことを忘れません。この仲間であえたことを忘れません。僕たちを育ててくれた須恵町できっとまた会いましょう。三年生の皆さん、進む道は違っても、一生懸命考え、自分で決めた道です。須恵中学校の卒業生としての誇りをもち、夢に向かって突き進んでいきましょう。当たり前で暮らせることが幸せであると私たちは知っています。常に感謝の心を忘れずに、明るく元気に頑張ります。

## 第78期卒業生たちへ

## 校長式辞より抜粋 ～あなたはかけがえのない存在～

いよいよ夢実現への旅立ちの時です。

皆さんが歩いていく未来は、急速な変化とともに、誰もが幸せに生きる持続可能な社会の在り方が追求されています。

未来への道しるべは、本校の校訓「英知」「友愛」「練磨」の心です。

「英知」は、新たな課題に、自分の考えや表現を生み出そうとする心です。

「友愛」は、互いの良さを認め合って共に伸びようとする支え合う心です。

「練磨」は、粘り強く自分らしく生きようとする心です。70年以上大切に受け継がれてきた須恵中の校訓は、どの時代にも通じる「生きる力」の基盤です。ふるさと須恵の温かな町で培った心を誇りに、自分の選んだ道を信じて、力強く一步を踏み出してください。

卒業にあたり、天台宗を開いた最澄の、「一隅を照らす」という言葉を贈ります。

皆さんがどこにいても、自分にできることに真心を尽くす、それぞれの場所で光輝くことによって、やがて社会全体も明るく照らされる、という教えです。

一人一人、あなたは、かけがえのない大切な存在です。輝く良さがあり、輝く場所があります。これから歩む道、これから創る人生。自分らしさを輝かせて未来を切り拓いてほしいと願っています。

「累積」の精神を心の礎に、夢の実現に邁進されることを祈念しています。

